

千葉 ライフ・ライン ニュースレター No.130

【発行】千葉県テレビ伝道協力会
〒260-0021 千葉市中央区新宿2-8-2
CCCビル 「千葉ライフ・ライン係」
TEL 043-247-3058 FAX 043-247-3072
E-mail: info@chiba.life-line.tv
ホームページ <http://chiba.life-line.tv/>
郵便振替：00110-8-579669

【協力】財団法人 太平洋放送協会(PBA)
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台
2-1 OCCビル
TEL 03-3295-4921 FAX 03-3233-2650
E-mail: mail@pba-net.com
ホームページ <http://www.pba-net.com>
でんわ世の光 03-3291-9061

本当のライフライン

日本ホーリネス教団岬キリスト教会牧師 千葉 和幸

昨年、東日本大震災を通して、ライフラインは命を維持する為に無くてはならない物だと痛感しました。被災地では必要とするライフラインが刻々と変わったそうです。一つ一つ回復するライフラインに希望の光を見出し、すると今まで喉から手が出るほど欲しかった物がいらなくなり、新しいニーズが発生してくる…。それは衝撃的な体験だったとお聞きしています。それでは永遠の命に預かる為のライフラインはどうなのでしょう…。そのライフラインこそ、この伝道番組の名であり、変わる事のない「ライフ・ライン」なのです。

最近召されたSさんという方がおられます。Sさんは突然体調を崩され入院されました。検査の結果、重い肺炎であることが分かったのです。クリスチャンの奥様から連絡を受けて、病床に伺った時、Sさんは、もう家に帰れない事を悟り私を待っておられました。Sさんは昔から聖書を読み、イエス様を受け入れておられた方でしたが、教会に行き洗礼を受けようとはされなかったのです。そうした自己流のライフラインでは、救いの確信を持っておられたのでした。そこで「なぜなら、人は心に信じて義とされ、口で告白して救われるからである」ローマ人への手紙10章10節をお読みした所、Sさんは救いの確信を求めて頷かれ、その場で「イエス様を救い主と信じます」と告白をされたのです。残された時間が少なかった為、翌日、病床洗礼をする事になりました。「頷くだけで良いですよ」と申し上げたのですが、酸素マスクを付けながら、苦しい息づかいの中、しっかりと信仰告白をされ、讚美までされたのでした。命がけの洗礼式でした。次に伺った時には嬉しそうに「先生、天国に行けますよね」と語られました。病床洗礼の10日後、Sさんは平安の内に天に召されました。教会での葬儀では、Sさんが永遠の命に預かり、死の陰の谷を主イエスに支えられ、持ち運ばれたお姿と、天の御国での再会の希望が、彼の住んでいた因習深い地域への福音宣教の機会として用いられました。この永遠の命を与えるものこそ、変わる事のない本当の「ライフ・ライン」なのです。

お茶の間に福音！

チバテレビ土曜あさ7時、心をいやす30分「ライフ・ライン」

ご家族でお楽しみ下さい。